

令和5年度 宮崎県立都城泉ヶ丘高等学校 自己評価書 (附属中) 【自己評価及び学校関係者評価】

4段階評価 4 期待以上 3 ほぼ期待どおり 2 やや期待を下回る 1 改善を要する

重点目標	評価項目	計画(P)	実践(D)	評価(C)		改善(A)	学校関係者評価					
		評価指標	方策・手立て	学校自己評価	総合	組織の考察・分析及び改善策等	評価	評価コメント				
生徒一人一人の学力を最大限に伸ばし、進路実現を図る。	基礎・基本の定着と学力向上	①教師が授業力を磨く。	全職員が県教育委員会による支援校訪問において、研究授業を1回以上行う。また、学習内容に応じてICTを活用した教育活動を適宜実施する。	3	3	【基礎・基本の定着と学力向上】 ①重点支援校訪問において、全職員が1回の研究授業を行った。また、教職員同士が日常的に情報交換を行い、ICTを活用した授業を計画的に実施することができた。 ②家庭学習時間調査を定期的に行い指導に生かしたことで、全学年とも週当たりの宅習時間の数値目標を概ね達成することができた。今後は、数値目標を達成していない生徒への個別指導にさらに充実させる。 ③総合的な学習の時間を中心に、全職員で指導に当たったことで、生徒全員が年度末の自然科学探究発表会で充実した発表を行うことができた。また、科学の甲子園ジュニア全国大会での2位入賞や作文コンクールでの全国2席など、全国・県レベルでの表彰を多く受けた。 ④読書活動において、清泉会を中心に思索の時間の充実に努めた。教職員も支援しながら日々の取組を定着させていく。 【進路指導の充実】 ①総合的な学習の時間の「キャリア探究」を通じて、医療講話及び県庁・医療体験活動(1・2年)、企業病院探訪(2年)を関係団体等の協力のもと実施し、コロナ前と同レベルの活動を実施することができた。また、職場体験学習の代替として各企業と他県の中学校をオンラインで結んだキャリア学習を2年生で行うことができた。 ②③個別指導や補充学習のためのSETの時間を多く確保することができた。また、中学校職員で諸検査等の結果の分析を定期的に行い、授業改善や個別指導につなげることができた。	【学校評議員】 ・職員が自己の児童力を高める努力をしているのは評価できる。自然科学探究や読書活動を指導することにより、多くの世の中の仕組みを学習し、将来の進路決定への参考になる。 ・中学生に対しての効果的な学習指導は高く評価できる。 ・全国・県レベルの表彰は素晴らしいです。今後も期待しております。 ・生徒一人ひとりの活躍が素晴らしいです。泉ヶ丘の知名度は確実に上がっています。 【学校関係者】 ・科学の甲子園ジュニア大会2位、作文コンクール全国2席、大変素晴らしい結果をととても嬉しく思う。互いに切磋琢磨し、皆がレベルアップしていけるよう期待する。先生方の指導も大変素晴らしいと大いに評価できる。					
		②学習習慣を確立させる。	各教科において家庭学習の在り方を適宜指導し、学期1回行う宅習時間調査において、週当たりの宅習時間を1、2年1080分以上、3年1200分以上を目指す。			○全ての生徒が自分の研究テーマに沿った論文をまとめることができるよう、総合的な学習の時間(自然科学探究)での生徒への指導・支援の充実を図る。 ○校外のコンクール等に出展・入賞できるよう、指導の充実を図る。 ○読書活動について、思索の時間の充実に目指し、文化清泉会の取組に対する指導・支援を行う。	①キャリア教育を充実させる。	総合的な学習の時間(キャリア探究)において、企業病院探訪等、キャリア教育に係る教育活動を各学年で年1回以上実施する。	②学力に応じた個別指導、補充指導を充実させる。	○各教科の個別指導、補充指導の充実を図るため、SETを月1回以上実施する。 ○中学校企画会において生徒の学力に係る情報交換を月1回以上行い、全職員での共通理解・共通実践へとつなげる。	③学力検討会・判定会を充実させる。	○中学校企画会において生徒の学力に係る情報交換を月1回以上行い、全職員での共通理解・共通実践へとつなげる。
		③探究活動や読書活動を推進する。	○全ての生徒が自分の研究テーマに沿った論文をまとめることができるよう、総合的な学習の時間(自然科学探究)での生徒への指導・支援の充実を図る。 ○校外のコンクール等に出展・入賞できるよう、指導の充実を図る。 ○読書活動について、思索の時間の充実に目指し、文化清泉会の取組に対する指導・支援を行う。			①職員の共通理解と共通実践を図る。	○中学校企画会において生徒指導に係る情報交換を月1回以上行い、全職員での共通理解・共通実践へとつなげる。	3	3	【規範意識の向上と生徒指導】 ①週1回以上の情報交換を行い、学習や生徒指導に係る共通理解を図ることができた。また、ケース会議を適時実施することができた。 ②担当職員の指導のもと、清泉会を中心に生徒主体の取組を充実させたことで、自主的に活動する生徒が増えた。 ③清泉会(生徒会)や集会等で、生徒が企画・運営する活動等の機会を増やしたことで、主体性のある生徒が増えた。また、清泉会執行部以外の生徒も積極的に活動することができた。 ④清掃徹底週間を設定し取組を充実させたことで、時間いっぱい清掃に取り組む生徒が増えた。 【道徳・人権教育・食育・健康安全教育の推進】 ①学級担任による週1回の道徳の授業を計画的に実施することができた。 ②夏休み前に情報モラル学習を実施した。今年度SNSによる大きなトラブル等の報告はなかった。 ③いじめに関するアンケートを年間6回実施することができた。また、夏季休業や冬季休業中に全員対象や希望者対象の面談を実施することができた。 ④3月に「弁当の日」を実施し、それぞれの生徒の実態に応じた取組を実施することができた。	【学校評議員】 ・職員同士の情報交換を基本として生徒指導することにより活性化している。主体性のある生徒を育成しようとする教育は素晴らしい。道徳の授業をとおしていじめやSNSなど世の中の様々な問題点を学習することは大切である。 ・多感な時期の中学生に対してこれらの教育は高く評価できる。 ・附属中は人数が少ないため、引き続きいじめへの早期発見、対応をよろしく願います。 【学校関係者】 ・全日制や定時制のように項目ごとの細かな数値評価あると評価しやすい。 ・豊かな心を育む為に、先生方が様々な指導されていることが分かる。今後も継続して欲しい。	
②挨拶を励まし規律を守る、素直で爽やかな生徒を育てる。	生活清泉会が中心となって取り組む挨拶を推進する活動が充実するよう、指導・支援を行う。	②食育と健康安全教育を推進する。	○食育の推進を目的として、「弁当の日」を年1回実施する。 ○健康安全教育について、交通安全・生活安全・災害安全に係る教育活動を年1回以上実施する。									
③自主性・積極性のある生徒を育てる。	様々な教育活動において、生徒が主体的に活動する場を意図的に設定し、状況に応じた指導・支援を行う。	④環境美化意識の高揚を図る。	○清掃徹底週間を学期1回設定し、指導の徹底を図る。									
人権感覚を養い、豊かな心を育む。	道徳・人権教育、食育・健康安全教育の推進	①道徳教育、人権教育、特別支援教育、教育相談を充実させる。	○道徳の時間を年間35時間確保する。 ○SNSによる人権問題等を未然に防止するため、全学年を対象とした情報モラル学習を年1回以上実施する。 ○いじめに関するアンケートで生徒の状況を把握し、教育相談を実施する時間を確保する。	3	3	①生活の記録や宅習時間調査の状況を全職員で共通理解し、SETを中心に個に応じた指導を行うことができた。 ②行事や清泉会活動において、活動の場を計画的に設定することができた。 ③1年生入学時に部活動担当職員によるオリエンテーションを実施することができた。 ④部活動に所属している生徒の割合が86.7%となり、昨年度の85%より多い加入率である。また、各部で指導を工夫したことにより、これまで以上に主体的に取り組む生徒の姿が見られるようになった。	【学校評議員】 ・文武運動の精神、実行を更に進めて欲しい。生徒同士の交流を積極的に図る必要があり評価できる。 ・多くの生徒が文武両道を実践していることは評価できる。 ・「武」を部活動だけでなく、生徒会活動やボランティアも含めて考えられている点は素晴らしいと思います。 【学校関係者】 ・どうしても高校生の影にかかれて見えない部分が多いイメージがあるが、部活動加入率86.7%はとても高い値と感心する。					
		②食育と健康安全教育を推進する。	○食育の推進を目的として、「弁当の日」を年1回実施する。 ○健康安全教育について、交通安全・生活安全・災害安全に係る教育活動を年1回以上実施する。			①文武連道の推進	①「文武連道」の「文」は勉強、「武」の部活動の他、生徒会活動やボランティア活動等も含めて考える。 ②学校行事へ積極的に参加させる。 ③生徒会活動を活性化させる。 ④部活動を充実させる。	中学校単独行事、中高合同行事において、生徒が主体的に活動できるよう、場の設定及び指導・支援の充実を図る。 清泉会集会等の集会活動や各係の常時活動など、生徒が主体的に活動を行うよう、指導・支援の充実を図る。 部活動の意義等を理解させるオリエンテーションを実施し、生徒の85%以上の部活動加入を目指す。				
文武連道の推進	文武連道の推進	①「文武連道」の「文」は勉強、「武」の部活動の他、生徒会活動やボランティア活動等も含めて考える。	勉強と部活動等の両立ができるように、生徒が毎日提出する生活の記録や宅習時間調査を活用し、生徒個々に応じた指導・支援を適宜行う。	3	3	①学校説明会を2回実施することができた。生徒主体の説明や施設見学は多くの参加者から好評評価を得た。 ②学校案内を作成し、地域内の小学校等に配付するとともに、ホームページでも紹介することで、本校の特色の周知に努めた。また、ホームページもこまめに更新し、昨年度1年間の総アクセス数を上回ることができた。(R4:28万アクセス→R5:30万アクセス(1日約1000アクセス) [R6、2、1現在]) ③教頭を中心に地域内の全小学校を訪問し、本校の学校説明を行うことができた。※次年度は、本校の特色を理解してもらうよう、広報活動の工夫を更に行っていく必要がある。	【学校評議員】 ・広報活動は充実しており、さらなる努力を惜しまないで欲しい。 ・県内の数少ない中高一貫校として充実した広報活動は高く評価できる。 ・学校HPの校舎の写真を現在のきれいな状態の写真と差し替えるの良いのではないだろうか。 ・ホームページを見るのが楽しみです。 【学校関係者】 ・相変わらずの人気の要因はHPの更新・学校説明会・小学校訪問にあったのだと大いに評価できる。生徒も先生方のがんばりに応えようと成長しているような感を受ける。今後も都度の未来を担う学校となって欲しい。					
		②学校行事へ積極的に参加させる。	中学校単独行事、中高合同行事において、生徒が主体的に活動できるよう、場の設定及び指導・支援の充実を図る。			②ホームページ、広報誌、パンフレット等を充実させる。	○ホームページを週2回以上更新し、地域・保護者への情報提供に努める。 ○学校案内・パンフレットについて、紙媒体とともにデジタル版を作成し、ホームページに年間を通して掲載する。					
		③生徒会活動を活性化させる。	清泉会集会等の集会活動や各係の常時活動など、生徒が主体的に活動を行うよう、指導・支援の充実を図る。			③積極的に小学校を訪問しPR活動を行う。	北諸県地区の全小学校及び西諸県地区の希望する学校を対象とした小学校訪問を6~7月の間に各1回実施する。					
広報活動の充実	広報活動の充実	①オープンスクールの工夫・改善を図る。	学校説明会を年2回実施し、事後アンケートにおいて「満足」との回答の割合を90%以上を目指す。	3	3	①学校説明会を2回実施することができた。生徒主体の説明や施設見学は多くの参加者から好評評価を得た。 ②学校案内を作成し、地域内の小学校等に配付するとともに、ホームページでも紹介することで、本校の特色の周知に努めた。また、ホームページもこまめに更新し、昨年度1年間の総アクセス数を上回ることができた。(R4:28万アクセス→R5:30万アクセス(1日約1000アクセス) [R6、2、1現在]) ③教頭を中心に地域内の全小学校を訪問し、本校の学校説明を行うことができた。※次年度は、本校の特色を理解してもらうよう、広報活動の工夫を更に行っていく必要がある。	【学校評議員】 ・広報活動は充実しており、さらなる努力を惜しまないで欲しい。 ・県内の数少ない中高一貫校として充実した広報活動は高く評価できる。 ・学校HPの校舎の写真を現在のきれいな状態の写真と差し替えるの良いのではないだろうか。 ・ホームページを見るのが楽しみです。 【学校関係者】 ・相変わらずの人気の要因はHPの更新・学校説明会・小学校訪問にあったのだと大いに評価できる。生徒も先生方のがんばりに応えようと成長しているような感を受ける。今後も都度の未来を担う学校となって欲しい。					
		②ホームページ、広報誌、パンフレット等を充実させる。	○ホームページを週2回以上更新し、地域・保護者への情報提供に努める。 ○学校案内・パンフレットについて、紙媒体とともにデジタル版を作成し、ホームページに年間を通して掲載する。			②ホームページ、広報誌、パンフレット等を充実させる。	○ホームページを週2回以上更新し、地域・保護者への情報提供に努める。 ○学校案内・パンフレットについて、紙媒体とともにデジタル版を作成し、ホームページに年間を通して掲載する。					
		③積極的に小学校を訪問しPR活動を行う。	北諸県地区の全小学校及び西諸県地区の希望する学校を対象とした小学校訪問を6~7月の間に各1回実施する。			③積極的に小学校を訪問しPR活動を行う。	北諸県地区の全小学校及び西諸県地区の希望する学校を対象とした小学校訪問を6~7月の間に各1回実施する。					